

れきしみち

- 特別展「人形師 辻村寿三郎-新八犬伝・真田十勇士・平家物語縁起-」
- 収蔵品紹介「帰鶴物語」-水戸の漢学者 石川部平-
- 新連載「安城歴史散策 昔ものがたり」
- ナイトミュージアム&安祥文化のさとまつり
- 安祥文化のさとではたらく人たち・ボランティア募集
- 夏休み行事紹介、市民ギャラリーよりお知らせ

2018.07
No.109



ナイトミュージアム 博物館ナイトツアー



特集：人形師 辻村寿三郎-新八犬伝・真田十勇士・平家物語縁起-

写真中央：真田幸村



安祥文化のさとまつり
火縄銃演武



夏休みは歴史博物館・埋蔵文化財センター・市民ギャラリーに行こう！

歴史博物館 (申込み・問合せ) 安城市歴史博物館 ☎0566-77-6655

● 夏休み自由研究相談会

歴史の自由研究を考えている方に、研究の進め方や参考になる本の探し方など、学芸員が相談にのります。親子参加も歓迎です。
※相談時間は最長 30 分、人数が多い場合は待ち時間が発生することがあります。
(日時) 7月27日(金)・28日(土)・29日(日)
10:00～15:00
(場所) 歴史博物館 エントランスホール
(対象) 小学3年生～中学3年生まで
※当日先着順で受付をしますが、事前に日時を予約することもできます(7月14日(土)9:00 から電話受付)。希望する日時、調べたいことなどを電話で歴史博物館へ。

● 体験講座「オリジナル風鈴づくり」

ガラスに自由に絵を描いて、オリジナルの風鈴を作ります。
(日時) 7月21日(土)
①10:00～12:00 ②13:00～15:00
(場所) 歴史博物館 体験学習室
(定員) 各25名
(参加費) 500円(材料費含む)
(申込み・問合せ) 7月8日(日)9:00 から電話で歴史博物館へ。



市民ギャラリー

● 親子でバルーンワークショップ「羽根が光る!? ちょうちょをつくろう！」

市民ギャラリーで開催する「夢もふくらむバルーンランド」のワークショップを開催します。羽根が光る!? カワイイちょうちょのバルーンを親子で一緒に作りましょう。
(日時) 8月11日(土) 15:00～16:00
(場所) 市民ギャラリー
(定員) 20組
(対象) 4歳以上の親子
(参加費) 1組 1,500円
(申込み・問合せ) 7月31日(火)必着
イベント名称・〒住所・氏名・フリガナ・電話番号を記入の上、ハガキかFAX(1枚で2人まで応募可)、または市民ギャラリーホームページからお申込みください。定員を超えた場合は抽選とします。
【安城市民ギャラリー】
〒446-0026 愛知県安城市安城町城堀30番地
☎0566-77-6853 FAX:0566-77-4491

埋蔵文化財センター 夏休み子ども考古学講座 (申込み・問合せ) 6月23日(土)9:00～電話にて文化振興課文化財係 ☎0566-77-4477で受付開始

● 古墳時代の鏡づくり

弥生時代から古墳時代の青銅製品や銅鏡について学び、低熔点合金を使って、ミニチュアの内行花文鏡をつくります。
(日時) 8月10日(金) 13:00～16:00
(場所) 埋蔵文化財センター創作実習室
(対象) 小学4年生～18歳
(定員) 10名(先着順)
(参加費) 300円



● 縄文時代の石器づくり

縄文人も使っていた下呂石やサヌカイトで矢じりやナイフを作ります。
(日時) 8月11日(土) 13:00～16:00
(場所) 埋蔵文化財センター創作実習室
(講師) 水野裕之氏 (名古屋市教育局教育委員会)
(対象) 小学4年生～18歳
(定員) 20名(先着順)
(参加費) 300円



● 家族で博物館めぐりINやきものヒストリー

埋蔵文化財センターを出発して知立市歴史民俗資料館、みよし市立歴史民俗資料館を学芸員の解説付きでめぐります。ワークシート記入形式で夏休みの自由研究にぴったりです!
(日時) 8月12日(日) 12:30～17:00頃
(場所) 埋蔵文化財センター創作実習室
(対象) 小中学生
(小学生は保護者同伴、中学生は一人での参加も可)
(定員) 18名(先着順)
(参加費) 300円

安城市民ギャラリーよりお知らせ

市民ギャラリー企画展「人々の暮らし」



杉浦辰子《レクイエムII》

ギャラリーコレクションの中から、人々の暮らしをテーマに描かれた作品を紹介します。
【開催期間】9/28(金)～10/7(日)
【時間】9:00～17:00(最終日は～16:00)
【休館日】10/1(月)
【会場】市民ギャラリー展示室D・E
【観覧料】無料

安祥文化のさと

「安祥文化のさと」とは安城市にある松平氏四代50年の居城跡を整備した安祥城址公園一帯の名称です

【全館共通事項】

住所 / 〒446-0026 愛知県安城市安城町城堀30番地
休館日 / 毎週月曜日(祝日の場合は開館)、年末年始(12/28-1/4)
URL / <http://ansyobunka.jp/> 安城市歴史博物館

安城市歴史博物館
開館時間 / AM9:00～PM5:00
TEL: 0566-77-6655 FAX: 0566-77-6600

安城市民ギャラリー
開館時間 / AM9:00～PM5:00
TEL: 0566-77-6853 FAX: 0566-77-4491

安城市埋蔵文化財センター
開館時間 / 9:00～17:00
TEL: 0566-77-4490 FAX: 0566-77-6600

安祥公民館
開館時間 / AM9:00～PM9:00
TEL: 0566-77-5070 FAX: 0566-77-6062



人形師への道

辻村寿三郎は昭和八年(一九三三)、旧満州(現中国北東部)に生まれました。幼い頃に「布の魔力とでも言える魅力にとらわれた」という寿三郎は、もの心ついた時には人形を作っていたといえます。

昭和十九年、一歳の時に母とともに広島市に引き揚げ、翌年、母の故郷である広島県三次市で終戦を迎えます。三次市は芸者衆や芸人が多く集まる、芸事や芝居興行の盛んな街で、寿三郎は、芝居で得た感動を人形に表すようになっていきます。そして二二歳の時上京し、劇団人形座に入団、ここで寿三郎は人形を動かす技術を学びます。さらに小道具制作会社に就職し、歌舞伎の小道具などを作る傍ら、「八百屋お七」など芝居に題材をとった衣装人形を作り、人形展に出品するようになります。

こうして芝居に深く関わりながら人形作りを続けてきた寿三郎が人形制作を一生の仕事とすることを決意したのは、二七歳の時です。その後は毎年のように「現代人形美術展」(全日本人形作家連盟、朝日新聞社主催)に作品を出品する傍ら、芝居、日本の古典文学、童話、ギリシャ神話、シャボン等幅広いジャンルの人形を制作しています。

NHK人形劇「新八犬伝」

「真田十勇士」への参加

そんな寿三郎に、NHK連続テレビ人形劇「新八犬伝」(昭和四十八年四月〜五十年三月放映)の人形制作の話が持ち上がります。昭和二十八年に始まったNHK連続テレビ人形劇は、これまでに「チロリン村とくるみの木」(昭和三十一年四月〜三十九年四月放映)や「ひよっこりひよたん島」(昭和三十九年四月〜四十四年四月放映)などで子どもたちに人気を博していました。

「新八犬伝」は江戸時代の戯作者曲亭馬琴の『南総里見八犬伝』を脚色したもので、中世安房国千葉県を舞台に、「仁」「義」「礼」「智」「忠」「信」「孝」「悌」の文字が浮き出る玉を持つ八人の「犬士」が里見家を救うために「玉梓が怨霊」や「魍魎」(悪人たちを相手に活躍する物語です。江戸時代には読本として出版されただけでなく、歌舞伎や錦絵の題材に取り上げられました)。

歌舞伎に深く馴染み、『南総里見八犬伝』の人形をいつか作ってみたいと思っていたという寿三郎は、話を持ちかけられると即座に引き受けます。そしてその日のうちに人形



「伏姫」(「新八犬伝」)

特別展関連連行事

● 歴博演芸場

「今井校校勉の琵琶による『平家物語』」
 [日時] 7月22日(日) 14時〜
 [内容]

盲目の琵琶法師が語る『平家物語』、それを平曲といえます。800年の歴史を刻む伝統芸能の本格伝承者である今井校校勉氏。
 有名な那須与一の一節を今井校校勉の琵琶によるライブ演奏でお楽しみください。

「講師」今井校校勉氏(一般財団法人国風音楽会会長)
 [対象] どなたでも
 [申込] 不要



● 体験イベント

「着物と帯を選んでオリジナルしおり人形を作ろう」
 [日時] 7月21日(土)〜9月2日(日) 9時〜17時
 [内容] 千代紙を使って、可愛いしおり人形を作ってみませんか。
 [対象] 特別展を鑑賞の方
 [費用] 無料
 [申込] 不要



特別展

人形師

辻村寿三郎

「新八犬伝 真田十勇士 平家物語縁起」

平成30年

7/21(土)〜9/2(日)

を作り始め、脚本が上がる前に四、五体作ってプロデューサーのところに持参したといいます。その際、歌舞伎や錦絵のイメージを壊さないように、子どもにも分かるよう作ったこと、テレビの画面の中で迫力を出すために、人形の顔を思い切ってデフォルメしたことなどを後のインタビューの中で語っています。



「玉梓が怨霊」(顔部分)(「新八犬伝」)

寿三郎の人形は顔に縮緬ちぢみを使うのが特徴で、当初は違和感があった人もいたようです。しかし、それがかえって強烈な魅力となり、奇想天外なストーリー、ナレーションを担当した坂本九の講談口調の名調子、三味線など古典楽器を使用した音楽などと相まって大当たりし、「人形師 辻村寿三郎」の名を一躍有名にしたのです。

その後寿三郎は、引き続き、次回作「真田十勇士」で人形制作を担当することになります。「真田十勇士」は、武田勝頼の忘れ形見である猿飛佐助や天下の大盗賊石川五右衛門の子三好清海など一〇人の勇士が、豊臣家の再興を目論む希代の名将真



「佐助」(頭)(「真田十勇士」)

田幸村の下に集い、徳川家康率いる伊賀・甲賀の忍者たちと熾烈な戦いを繰り広げるといストーリーです。
 この時寿三郎はできるだけ「新八犬伝」の人形の雰囲気を出すように苦心し、「真田十勇士」のシャープさ、研ぎ澄まされた感じを表現したといえます。
 寿三郎は「新八犬伝」のために三〇〇体以上の人形を作り上げましたが、その多くはすでに失われてしまいました。今回の展覧会では、「新八犬伝」「真田十勇士」で現存しているすべての人形を展示します。



「真田幸村」(「真田十勇士」)

「平家物語縁起」の世界

NHK連続人形劇に参加した後、寿三郎は人形師のほか、着物デザイン、舞台・映画等の衣装デザイン、演出など多岐にわたり活躍

します。そうした中で取り組んだのが、「平家物語縁起」です。

「平家物語」は平安時代末期、平氏の棟梁、平清盛の誕生、栄華から死、そして平氏滅亡を軸に、貴族の世から武家の世へと移行行く時代を描いた、栄枯盛衰の物語です。寿三郎は平清盛について、「日本史上、最も魅力ある人間の一人」と考え、取材を重ねました。清盛に関するありとあらゆる文献を調べ、その舞台を実際に歩きました。それは清盛の記憶をたどることであるといえます。そうして生まれた寿三郎独自の「平家物語」を一体一体の人形の表情や佇まい、衣装などで表現し、歴史の裏に息づく人間の情念をも伝えようとしたのが、この「平家物語縁起」です。

「人形師 辻村寿三郎」が見た平清盛とはどのような人物だったのか、そして清盛を取り巻く人間模様はどのようなものだったのか。人形たちが語るその世界に触れてみてください。



「熱病の清盛」(「平家物語縁起」)



「安徳帝を抱き入水する時子」(「平家物語縁起」)



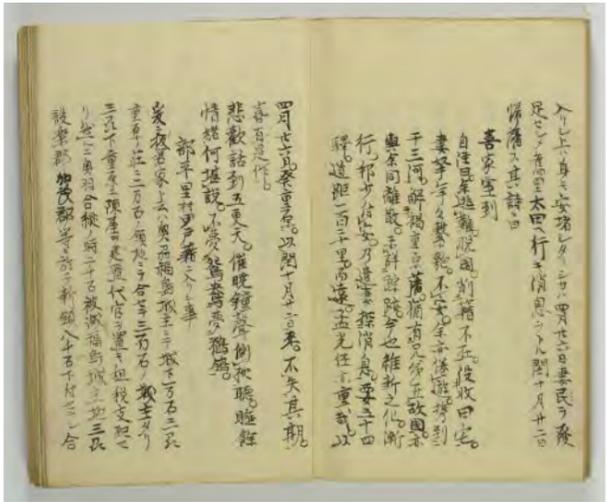
● 体験講座
 「江戸時代から伝わるつまみ細工」髪飾り「つべり」
 [日時]
 8月4日(土) 13時〜16時
 [内容] 江戸時代から伝わるつまみ細工で可愛い髪飾りを作ってみませんか。
 [対象] どなたでも(小学1〜3年生は保護者同伴)
 [費用] 1200円
 [定員] 20名
 [申込] 7月20日(金)午前9時から電話で歴史博物館へ
 ☎0566・77・6655

収蔵品紹介

「帰鶴物語」―水戸の漢学者 石川部平―



「帰鶴物語」写し



部平が里村の戸籍に入る時の記述部分(「帰鶴物語」)

明治のはじめ、碧海郡里村(市内里町)に青藍塾という私塾を開いた人がいました。常陸国久慈郡谷河原村(茨城県常陸太田市)出身の石川部平という漢学者です。幕末から明治にかけての激動の時代、部平もまた波乱万丈の半生を過ごした人でした。当館には、彼の半生を綴った「帰鶴物語」の写しがあります。

石川部平は、天保二年(一八三二)四月十五日に水戸藩郷士篠原平衛門政敏の次男として生まれ、長じて石川家へ養子に入りました。祖父から学問を学び、郷土加倉井砂山から漢学や詩文、儒学者の藤田東湖よりも学問指南を受け、算術や兵術・剣術なども身につけた後、江戸の昌平坂学問所で学びました。

元治元年(一八六四)、尊王攘夷をとなえる藤田小四郎(東湖の息子)たちが筑波山(茨城県つくば市)で挙兵、天狗党の乱が起りました。この時部平は、農兵を集め、水戸城近くの千波原(茨城県水戸市)で天狗党と戦いました。混迷する水戸藩の中、部平は天狗党を抑える側についたにもかかわらず、二度も投獄されてしまいました。三年後に出獄するも、追われる

身となった部平は、友人を頼り東北へ行き、福島で青藍塾を開きました。その後、福島藩士たちの力添えで福島藩の漢学者として仕官が許されることになったのです。

しかし、明治二年(一八六九)に福島藩は三河の地へ転封となります。これは、戊辰戦争の際新政府軍と戦う会津藩を救うため結ばれた奥羽越列藩同盟に福島藩も加盟していたことによるものでした。藩主は交代させられ、遠い三河の飛び地に新しく重原藩が成立することになりました。市域では野田村(字二本木)や箕輪村・福釜村・榎前村・里村などが重原藩領でした。翌三年には部平も三河の地へ移りました。重原藩では上士に列せられ、藩校養正館の一等教授となりました。住まいは野田村の昌福寺(刈谷市野田町)でした。

ようやく落ち着いていた部平でしたが、明治四年には廃藩置県となり、重原藩は廃藩となりました。その後部平は、里村で暮らし戸長に任命されます。戸長を辞めると里村にできた学校で教員として勤めました。同じ頃私塾、青藍塾を開きます。昼は子供たちを教え、夜は青年たちを教えることになりました。里村

では、村人や塾生たちが部平を慕い、世話をしました。ここで塾生は、その後教員や医者、議員など地域のために貢献していきます。また重原藩出身で自由党や衆議院議員で活躍した内藤魯一も部平の薫陶を受けた一人でした。

部平は、明治十一年に里村から岡崎へ、明治十二年には田口(北設楽郡設楽町)と稲橋村(豊田市稲武町)へ青藍塾と共に転居を繰り返します。そして明治十三年、ようやく故郷常陸国へ帰り、明治四十二年に七九歳の生涯を終えました。

当館の「帰鶴物語」は、明治十二年十二月に写したと記されています。部平が書いた序文には明治十二年とあり、ほぼ同時に写していることがわかります。三河を離れる少し前に自分のこれまでの半生を記したものを里村に住む塾生の一人が写したのが、当館にある「帰鶴物語」です。帰鶴とは、部平の号といわれています。鶴が帰るように部平は故郷へ帰りましたが、その後も三河で知り合った人たちとの交流は続いていきました。今年十一月開催の特別展には、部平に関する資料や「帰鶴物語」を展示する予定です。続きは安城市歴史博物館で、ぜひ御覧ください。



逆向きに建つ

大浜騒動で処刑された

榊原喜代七の墓

城ヶ入町城泉寺入り口南側に高さ一二〇センチ、横幅六〇センチの石碑があります。大浜騒動で処刑された榊原喜代七の墓といわれるものです。この石碑は全体の様子から見、前後が逆に建てられています。前面に碑文が刻まれ、裏面には額枿があります。普通、石碑の碑文は裏面に刻まれます。そのことからこの石碑は、通常とは違った建てられ方をしていることとなります。前後が逆に建てられたのは、事件のいきさつと当時のしきたりによるといわれています。喜代七は、明治四年(一八七二)に起きた大浜騒動において、役人殺害の罪人として絞首刑に処せられています。墓が前後逆

向きに建てられたのは、囚人の墓は後ろ向きにして建てるものだったからです。喜代七は、役人殺害の一番槍ということで処刑されましたが、騒動が暗夜の中、多人数で起きたため、殺害の事実は必ずしも明らかではなかったらしく、身代わりであったともいえなくもなかったようです。この墓はいつ誰が建てたかは不明とされていますが、騒動に関係のあった僧侶たちの手で建てられたともいわれています。

風化して読みにくくなっています。榊原喜代七 性敦厚 家世業農独與姉居 常帰仏教 擁蔽護法城之

誠意 会大浜村僧嚴証 棚尾村僧賢立 破宗律 且欲併郡中諸寺而為己有 其計既成矣 小川村之僧石川台嶺 大聚僧徒議之 將問其罪行 至鷲塚村 奉教之徒 追尾者以千數 喜代七亦在焉 於是菊間藩 使吏鎮之 喜代七以為 吏亦害仏教者 刺殺之 因其罪 明治辛未十二月二十七日絞殺 享年三十七 諡意順 銘曰 碧海農人子 敢為仏法死 仏法長不亡 是精誠所止 とあり、騒動の概要を知ることができます。喜代七は、「明治村史」や町内に残る言い伝えによれば、天保六年(一八三五)城ヶ入村本郷の農家喜代三郎の長男として生まれ、小さいときから体が丈夫で腕っ節が強かったようです。一四歳の時、父親が亡くなり家は貧しくなりました。そのため同村内の親類縁者の家で下男奉公をして暮らしを立てていました。が、相撲取りになることを思い立ち、清見潟の部屋へ入り、四股名を「城ヶ崎」と名のつていました。しかし、相撲部屋の厳しい修行に耐えきれなくなり帰村し、それ以後は百姓をして暮らしていました。明治三年には城泉寺の世話方を勤めていました。

さて、喜代七が処刑されるきっかけとなった大浜騒動は、明治新政府が神道国教化政策を進め、寺院の統廃合と神前祝詞を打ち出した、いわゆる廃仏毀釈の動きの中で起こりました。当時、大浜(碧南市)にあった菊間藩(葉原)の大浜出張所に、明治三年七月、少壮気鋭の士である小参事服部純が着任しました。彼は寺院の合併と読経念仏の代わりに毎朝天拝日拝をし、さらに祝詞を唱えることを命じ、果敢に新政策を実行しようとしていました。幕末維新时期、国学、神道、儒教が盛んになり、耶蘇教(キリスト教)も浸透の機をうかがっていました。東本願寺は、これらの動きに対応すべく高倉学寮に「護法場」を設立し、対応を図っていました。この護法場で革新的気風を学んだ星川法沢(高取村専修坊)・石川台嶺(小川村連泉寺)は、三河青年僧を中心に暮戸会所に護法会を結成し、耶蘇対策を中心とした護法論廃仏政策への対策を考えていた時期でした。明治四年三月になり、服部の進める政策が従来の寺院優遇政策を侵すものであり、廃仏への不安が一層高まっていました。また、西方寺(現碧南市大浜町)・法輪寺(現碧南市棚尾町)が服部の政策に従ったことが宗風にあるまじきことと受け止められ、暮戸会所に集まった三十



に談判に向かうことになりました。専修念仏を固く信じる多くの門徒農民も大浜に耶蘇が来た、仏敵であるという思いで集団に加わっていました。大浜に向かう途中、鷲塚(碧南市)の庄屋片山俊次郎邸で藩役人との談判となりました。役人と交渉のさなか門徒農民が片山邸を襲う暴動事件となり、事態は護法会の僧が予想しない方向へ進んでいき、多くの犠牲者を出しました。事件後、直ちに事件に関わった僧をはじめ役人殺害の容疑者が関係諸藩に捕らえられ、取り調べを受けました。逮捕者は全員裁判のため岡崎城の牢に移され、十二月二十七日に判決が下されました。僧侶三二人、百姓八人に処分が出され、有罪者は直ちに関係の藩に引き取られました。首謀者とされた台嶺と殺人容疑者榊原喜代七はその日のうちに処刑されました。

施設と地域を結ぶ役割を担う社会教育指導員さん。
小中学生の見学学習の受け入れや、美術講座の企画運営など
様々なお仕事を担当しています。

安祥文化のさとで
はたらく
人たちは
歴史博物館
市民ギャラリー
「社会教育指導員」

Q1 社会教育指導員として
長年、学校教育に携わってきた経験を活かし、歴史博物館や市民ギャラリーにおける地域社会と連携した教育活動を推進するために、助言などをさせていただくのが主な仕事です。

Q2 お仕事で心がけていることは
歴史博物館では、将来の地域の担い手である小中学生の皆さんに、安祥の歴史への理解を深め、ますます安祥を好きになってもらうように、学芸員や博物館ボランティアの皆さんと協力しながら歴史との出会いを工夫しています。

Q3 仕事の魅力は
長年携わってきた学校教育を通して得ることが

また、市民ギャラリーでは、美術講座受講者の皆さんに楽しく受講していただき、様々な創作活動を通して芸術への関心や理解を深めていただきたいと思います。みなさんの声に耳を傾けながら担当スタッフみんなで協力して講座運営に努めます。



Q4 来館者へのメッセージ
歴史博物館では安城市を中心とした地域の歴史を展示や様々な講座・イベントを通していろいろ学ぶことができます。

また、市民ギャラリーでは、美術作品の展示や美術講座を通じて芸術を身近に感じていただくことができます。老若男女を問わず、多くのみなさんにぜひ足を運んでいただきたいと思います。



8/10(金)
8/12(日)
21:00まで

夜の博物館に行こう！
ナイトミュージアム

期間中は安城市歴史博物館、安城市民ギャラリー、安城市埋蔵文化財センターを夜9時まで開館します！
期間中は様々なイベント、アート企画、博物館ナイトツアーをおこないます。ぜひ夜の博物館にお越しください！



要申込 博物館ナイトツアー
日時 8/11(土) ①18:00 ②18:30 ③19:00
8/12(日) ①18:00 ②18:30
定員 各10名
費用 無料
申込 7/22(日)9:00～電話で受付開始



要申込 土器の午晩ヨハン
日時 8/11(土)17:00～19:00
定員 家族かグループ10組(1組5名まで)
費用 1人100円
申込 7/21(土)9:00～電話で受付開始



和紙の風船ラングシェード作り
日時 8/10(金)17:30～20:30
費用 100円
申込 不要(当日受付・20:00受付終了)
※満員の場合はお待ち頂くことがあります



プロジェクトマッピング
日時 8/10(金)・11(土)・12(日)
日没～21:00

8/12(日)19:00～ 展示解説

特別展「人形師 辻村寿三郎」
一新八犬伝・真田十勇士・平家物語繰起

本館学芸員による展示解説をおこないます。
要観覧料(一般500円・中学生以下無料)
申し込み不要(当日ご来場ください)



同時開催! 夢もふくらむ

バルーンランド

平成30年 7月31日(火)▶8月12日(日) ※8月6日(月)は休館日

会場 安城市民ギャラリー 展示室(C・D・E室)

入場無料



安城市歴史博物館で一緒に活動してみませんか。

歴史博物館では、観覧者へのガイド解説やイベントサポートなどの様々なボランティア活動を市民の皆さんとおこなっています。ただいま一緒に活動してくれる人を募集しています。お気軽にご参加ください！



博物館ボランティア

小中学生の見学学習時の常設展のガイド解説、火おこし体験などのサポートをおこなっています。



安祥文化のさと
歴史文化イベントチーム

歴史博物館で開催するイベント(さとまつり運営、上映会の受付、歴博福よせ雑の小物づくりなど)のサポートをおこなっています。



安祥文化のさと生き物クラブ

ホタルやアサギマダラのための環境整備活動、ホタルの放流式のサポートをおこなっています。

芸術活動や歴史研究発表など、
歴史と文化をテーマとしたお祭りを開催。
盛りだくさんの催しを企画中!ぜひ遊びにきてください。

- ・石舞台でのステージ公演・さとマルシェ・子ども武者行列
- ・市民陶芸まつり・火縄銃演武・歴史のひろば表彰式 ほか飲食販売

平成30年
9月29日(土) 30日(日)
9:00～16:00

安祥文化のさと
(歴史博物館・市民ギャラリー・埋蔵文化財センター・
安祥公民館・安祥城址公園)



安祥文化のさとまつり